

第14号 バージャ-病NEWS

2021 年 3 月 31 日発行
発行：認定 NPO 法人バージャ-病研究所
〒302-0118
茨城県守谷市立沢 980-1
TEL 0297-47-9955
FAX 0297-45-4541
http://keiyu.or.jp/vascularcenter
E-mail:vascular@keiyu.or.jp
発行者：岩井武尚
編集：小笠原紘子・宮口順一

カミカゼ (kamikaze) 感染が 全身の血管に病気を起こしている

日本ではかつて何万人もいたバージャ-病患者。今や数千人に減少してしまっただが、地球規模ではまだまだ患者は減っていない。

そのわけは、中近東、アフリカでは政治的や経済的ストレスが多いせいか依然喫煙者は多く、治療も「いまいち」で患者も多い。その生々しい話を聞くうちに、国は異なっても、百万人はいらぬと思われ、若い患者を足の切断から救おうという思いがつのってきたのである。

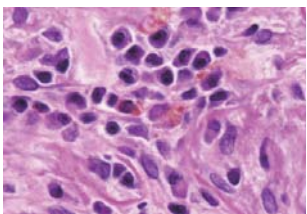
さて、世界は新コロナで2年目を

むかえようとしている。そんな中、ヨーロッパ、中近東、アフリカ、アジアの専門家たちとウェブを使った国際討論会をやっている。もちろん「バージャ-病」が対象である。アジアからはバングラデッシュ、インド、イラン、ネパール、オマーンなどが参加している。昨年夏からすでに3回行った。(図1)

日本でも、アメリカでも、ヨーロッパでも患者は減って最近90歳を越えた日本の有名な外科医が「消えてゆく血管病」としてバージャ-病を挙げていた。ほんとに消えていくのであるのか？消えてくれればありがたい話である。



(図1. 患者の多い、中近東・アフリカ地域)

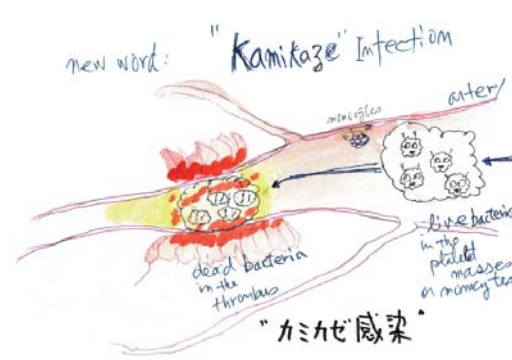


(図2. ラット動脈血栓の顕微鏡写真。バージャ-病とそっくりである。)

その引き金となる物質がともに歯周病菌の毒素であるということがわかってきた。我々はラットの試験で血栓ができることを証明してきた。(図2)

こんな大事なこと世界の人みんながわかっていないわけではない。なんといつかでも宣伝不足である。酸素が苦手なので、歯周病菌が口の中心以外の体内で生きていくのは大変である。よって、そのままでは全身の敗血症を起こして人を殺すこともない。どうやって悪さをしているか？それがやっとわかったのである。それは「カミカゼ kamikaze 感染」

口腔内には何万という細菌が生きているが、虫歯菌、歯周病菌、肺炎菌、カンジダ菌など種類も多い。その中で歯周病菌が種類、数で圧倒している。歯周病菌は簡単に血中に入り、血小板と塊を作り末梢動脈を詰めてしまう。詰まるところまでは生きていくが3、7日ですぐに死んでしまう。嫌気性菌であるから酸素の多いところでは死んでしまう。歯周病菌の属するグラム陰



(図3)

である。太平洋戦争末期、神風特攻隊が敵艦に飛び込み自爆したことから「カミカゼ」は有名になった。日本だけかと思ったら1901年9月11日のアメリカ同時多発テロではアルカイダによる自爆テロを kamikaze と呼んだ。このことからカミカゼは国際語となったのである。

性菌たちの特徴で、菌が死ぬと外膜にあるリポポリサッカライドと呼ばれる物質が放出され、血管内皮細胞を壊すのである。この生きた菌が死んで血管壁を壊す自爆行為をカミカゼ行為、カミカゼ感染と呼びたいのである。

感染の定義は、「病原体(主に微生物)が宿主(通常はヒトなど)に侵入し、定着し、増殖すること」をいうことになっている。増殖することのない場合は感染と呼べないことになる。定着しても通常は細胞に食べられたりして消えてしまう。我々は、定着して、死してもなお害をなすことを動物で証明したことになる。



(図4)

西暦2000年頃からの文献を集めてみると全身の血管から歯周病菌のDNAがPCR法を用いて次々と発見されている。バージャ-病患者の血管からは我々が発見した、冠動脈の粥状硬化病変、心臓の冠動脈閉塞部位、大動脈瘤、腹部内臓の閉塞動脈、腸骨動脈、浅大腿動脈の粥状硬化、中・小の動脈瘤、静脈瘤などから続々と発見され、菌が血管の病気の引き金になったのではと推測されている。(図4)

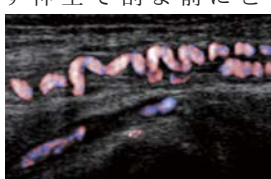
本日の感染ではない感染すなわちカミカゼ kamikaze 感染はかくして病気の根源に近づく重要な役割を持っていることが判明したのである。菌の死骸が全身の血管・臓器に散らばって悪さをしている。研究は続くが、脳の小さな梗塞(ラクナ梗塞、薄毛や禿、低体重児、種々の炎症性疾患の一部、認知症など)など大きな病気の底辺をつかさどっているような気がする。(岩井)

告知板：第十三話
エコー検査でらせん構造が見えた！

バージャ-病には、手足に「らせん状」の血管が発達すると言われている。この血管は、ワインボトルのコルク栓抜きに似ている。

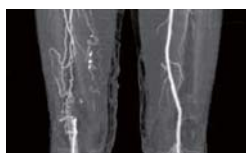


ため「コルクスクリュー状」などと呼ばれている。バージャ-病の診断には、動脈造影や造影CTを受けることが一般的だが、造影剤の注入には痛みを伴う他、肝機能の低下やアレルギーが原因で造影剤が使えない患者も多い。しかし近



存在するため、検査には知識とコツが必要になってくる。前掲として、大まかな神経の解剖を理解しなくてはならない。坐骨神経や伏在神経などを検索す

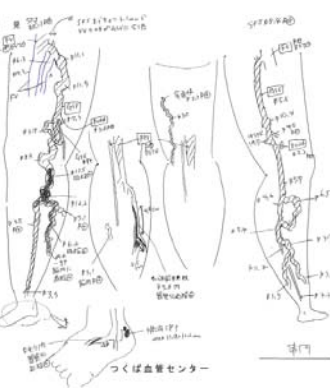
今回このシリーズ最高齢と思われるがMMさん71歳です。めずらしいことにお父様もバージャ-病だったということ。35歳の発症ですがたばこがなかなかやめられずここまで来てしまいました。



(写真3)



(写真2)

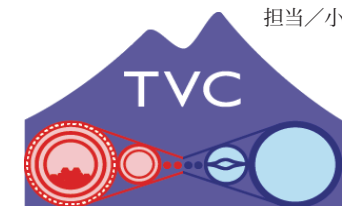


(写真1)

私はうつろが多がある

当法人は皆さまからの寄付金により運営されています。たくさんのご支援、誠にありがとうございます。

■寄附受付口座：
筑波銀行 南守谷支店 普通・1057042
■口座名：
特定非営利活動法人バージャ-病研究所
代表 岩井武尚
■事務局連絡先：0297-47-9955
担当/小笠原



バージャ-病相談のご案内

バージャ-病研究所のホームページでは相談室を開設しております。
日頃から気になる症状や疑問に思うことなどお気軽にご相談ください。
ホームページからのメールフォームでも受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さい。
http://keiyu.or.jp/vascular/



血管が詰まるリスクは2つの状態が重なった時に高まります。

① 油分や老廃物で血液がドロドロな時
② 血管自体が酸化したり、内壁にカスがこびりついて血管がカチカチの時

血管はゴムホースのようなもの。古く硬くなったホースに泥水が流れ込みさらに圧力がかかると詰まったり裂けたりするのです。

毎日の食事から血管病を予防しましょう！

○血液ドロドロ予防
納豆：酵素の力で血栓そのものを溶かす。
お酢類・梅干し：クエン酸の働きで血小板が必要以上に集まるのを防ぐ。
コンブ・ワカメ：ぬめり成分がコレステロールの吸収を妨げ体外へ排出する。

○両方に効果あり
青魚：DHAに細胞の弾力性を向上させる効果があり、EPAに血栓をつくりにくくする効果がある。フライにすると油に溶け出し効果は半減。
赤ワイン・緑茶・ココア(ポリフェノール)、ニンジン・トマト(カロチン)：抗酸化作用が、動脈硬化を予防する。
タマネギ：脂質の吸収を妨げ体外へ排出する。

○血管カチカチ予防
カボチャ・アスパラ・ニラ・サケ・ナッツ類(ビタミンEと母レモンなどの果物類・サツマイモ・ピーマン(ビタミンC)：コートを一緒にすると効果的。抗酸化作用で動脈硬化を予防。

血管にいい食材とは？